

残すところ派遣留学も残り1ヶ月になりました。派遣留学が始まったのがついこの間のものであつという間の月日の流れを感じます。残りの1ヶ月気を抜かないよう勉学・国際交流に精一杯励んでいきたいと思ひます。今月の報告書では、3月上旬に行われた Engineering open House と現在の履修授業の様様について報告させていただきます。

### Engineering Open House

3月13日(金曜日)にイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校では、Open House という日常学校で行っている研究・授業内容の一般公開のポスターセッションやデモンストレーションが行われました。金沢工業大学のオープンキャンパスをイメージしていただければわかり易いと思ひます。普段外部からは見えにくい学校の現状をこの Open House を通し一般の人に見てもらおうという意図が感じられます。平日に開催していたにも関わらず訪れる一般の人の人数はとて多く、中高生・一般客など多地域からキャンパスにやってくる非常に活気があり雰囲気的には工大祭に近いものがありました。

私は Open House の1つである Engineering の Open House に Roommate の Euntae Song と一緒に友人のポスターセッション・ロボットコンペティションを見に向かいました。丁度、友人のポスターセッションは同じ専攻である材料工学であったので非常に参考になるポスターセッションでした。友人が行っている研究(バイオマテリアルに関する研究)のレベルの高さとそして一般の人にわかりやすいように説明する技術にはとて感心します。更に驚いたことは友人が Open House のための研究にたった2日間しか費やしていないことです。彼らの勉強に対する集中力と体力にはいつも驚くばかりです。

Engineering の Open House に引き続き、ロボットコンペティションを見学に行きました。大きな体育館の中で行われており一瞬国際大会かと思つたほどです。それぞれの参加チームのロボットも本格的で、参加している学生は大会を心から楽しんでいるようでした。この Open House に行き、やはり大学というものは開かれた大学をアピールし一般と学生の交流の場を設ける必要があると感じました。金沢工業大学のオープンキャンパスも一般や学生の方々に多く参加していただきもっと活気のあるオープンキャンパスにしていければと思つています。

## 履修科目の状況

### <ESL114>

この科目はいままでので報告書に記載してあったようにWriting能力の向上を目的とした授業で1学期を通して3つのResearch Paper や週二回のJournalを通してwriting能力の向上を図っています。現在、広告についてのResearch Paperに取り組みしており、このResearch Paper の目的はOrganization, Content, Vocabulary and Style, Convention などエッセイの書き方を具体的に学べる内容となっています。このクラスで学ぶWritingは他の授業でのResearch paperに取り組み際に非常に役に立っています。この授業を通しWriting能力のより一層の向上を計っていきたいです。

### <FR101 >

フランス語の授業が今学期の中で一番宿題の量が多い授業です。週4回の基本レベルのクラスの授業なのですが非常に難しく、授業の進行スピードが速く感じられます。内容は会話形式中心の授業で、もちろんフランス語で行なわれます。語学は将来の仕事の上で役に立つ場面があるかもしれないので、専門分野と同等に力を入れていき、7月のパリで行なわれる国際学会に参加する際に日常会話を使いこなせるレベルまで授業を通し習得していこうと思います。

### < EALC >

Japanese Introduction Culture の授業はここアメリカで履修してよかったと思う授業であり、現在は現代日本文化についてです。家元・芸者・歌舞伎の世界から見る日本の社会構造について学んでいます。意外と初めて知った内容もありとても新鮮な気持ちで授業を受けています。この授業を通して一人でも多くのアメリカの学生に日本を知ってもらい、日本のことを好きになってもらえればと感慨深い授業です。

### < MCB150 ( MATSE305 ) >

この授業が今学期履修した中で一番難しい授業です。内容は遺伝子工学で初めて習う内容で毎回予習・復習そしてレポートに時間を多くさいている割には、成績の向上がみられない授業です。内容としては講義で遺伝子工学について学び、Discussion の講義では学生や TA と遺伝子工学に関係ある倫理問題について意見を活発に交換しあうという形態になっています。この授業は今回の派遣留学の目的である遺伝子工学の基礎能力の拡充の授業であるため、理解に励み、この授業で学んだ知識を修士研究に役立ていきたいと思っています。

以上